

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会

たより

令和2年7月3日発行

第43回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時：令和2年6月25日（木）18:30～20:00
- ◆参加者：ZOOMでの参加者52名+α、会場参加17名



☆ZOOMを使ったWeb研究会を開催しました。

特別企画 新型コロナウイルス感染症対策 ～新たな日常の中での多職種連携～

～研究会開催にあたって～
世話人会代表 松木明さんより



「約5か月ぶりの研究会となりました。新型コロナ感染拡大防止対策では「3密を避ける」新しい生活様式が提唱されています。人と「密を避ける生活」ということは、「密=近い」の反対「疎=遠い」すなわち、人と人が「疎遠」になる状況が生まれてきます。いつまでもこの状況が続けるのではなく、変えていく力も必要ではないかと感じています。

また、「うつるかも」「うつすかも」といった不安から、人と会うことも怖くなっていませんか。自分自身や相手に不審感をもつことがくせになってしまっていないでしょうか。信頼をもって人と接することができるようにしていかなければならないと思っています。今日は遠く離れていた人とも画面を通じて顔を合わせることができています。Web上で意見交換もできます。どうぞよろしくお願いいたします。」

【第1部】話題提供

1. 「新型コロナウイルス感染症対策の状況」

湖東健康福祉事務所（彦根保健所）
所長 小林靖英さん

- 年代別の国内・滋賀県内での発生状況、
- 相談体制、診療体制について
- 入院医療体制、発生時の対応について
- 感染拡大防止に向けた取組について
(社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について)
- 県民への呼びかけ もしサポ滋賀

2. 「介護の現場から」

一社彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
会長 鈴木則成さん

- 全国の介護福祉施設等での発生状況について
- 大きな危機に直面した介護の現場の状況(他県での状況)
- 事業者協議会が実施した調査の結果から
- 今後の対策について

滋賀県における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

県民の皆様への呼びかけ 「滋賀らしい生活三方よし」

「家」でよし

- ✓ 毎朝、体温測定、健康チェック
- ✓ 発熱がある場合は自宅で休む
- ✓ 常に備わっている「手洗い」を正しい方法で行い、エタノールの感染予防を調整
- ✓ 免疫力を向上させる健康づくり（水分補給を忘れずに）

「社会(滋賀)」よし

- ✓ 感染者が多数発生している地域への移動は極力控える
- ✓ 発症した時のため、自分の行動を控える
- ✓ テレワークやオンライン会議の活用
- ✓ 通車も利用する
- ✓ 毎日、滋賀県の感染情報を共有
- ✓ 今こそ、一人も取り残さない

あなたと、大切な人を守るために

「外」でよし

- ✓ 症状がなくてもマスクを着用し、咳エチケットの徹底
- ※ 気温・湿度の高い車でのマスク着用は熱中症に注意
- ✓ 屋外でも十分な距離を確保する場合には、マスクをはずす
- ✓ 人の間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
- ✓ 変なでいる場所や時間帯は避けるなど、人と人の接触機会を減らす
- ✓ 会話をする際は、可能な限り声は抑える
- ✓ ビーチなどにより、滋賀の魅力改めて感じながら健康増進につなげる

今後の対策について

- ① 感染予防策の徹底
 - ・新型コロナウイルス感染症の正しい理解と予防策の研修開催
 - ・感染が起こったときのシミュレーション研修(ことうの時はには、こういう対策をするなど感染管理の研修)
- ② コーディネーターの必要性
 - ・感染が起こったとき、サービス提供が継続できるよう、情報が集約できて、適切なアドバイスができる体制づくり
- ③ 介護提供体制の維持(事業の継続)、利用者の心身機能悪化予防、日常生活を守るための対策
 - ・BCP計画の策定
 - ・介護事業者間の協力支援体制整備
 - ⇒しがD-WATとの連携
 - ・利用者の心身機能の悪化予防策(新)
- ④ 医療との連携
 - ・早期のPCR検査の実施
 - ・感染拡大防止のための患者の判別、
 - ・介護ケア場面で感染拡大防止対応
 - ⇒ 早急に十分な衛生用品の確保が必要

出典：「クローズアップ」の「ケアセンター」高齢者の命をどう守る?より

意見交換

ZOOM内と会場で、8つのグループに分かれて意見交換を行いました。

『第2波に備え、今できることは』

○それぞれの現場での対策はどうだったか。

○第2波に備え、必要な対策は何か。今できることは何か。

「第2波に備え、必要な対策は？」 第1波の状況・対策を踏まえ、様々な意見が出されました。

- 正しい知識、情報を得る。感染予防策の徹底、継続。感染拡大の段階に応じた対策実施内容の基準の設定。
- 隠れコロナ(無症状)への対策。検査が受けやすい体制整備。
- アプリ『Cocoa(ココア)』の活用促進。
- 十分な物品(衛生用品・防護具)の確保。必要な物品の備蓄量の試算。
- 自事業所で感染者が発生した時の対応シミュレーション、バックアップ体制などのしくみづくり。
- 感染者発生時も事業が継続できるような他事業所との協力支援体制づくり
- 予防策をやり続けることで生じる問題点について改善策を考える(例えばマスク使用による熱中症等)。
- 関係者の会議や研修、地域での講座など、交流の場の持ち方、環境整備についての検討。
- 自粛による住民の心身機能低下予防、フレイル予防の対策。
- 面会制限等で生じる家族との連携の在り方や患者への影響についての対策
- 地域での住民同士のつながり、自助・互助について
- 情報公開の在り方についての検討

【まとめ】金子隆昭さん(彦根医療福祉推進センター長)より

病院では感染拡大防止策を徹底して行ってきました。意見交換では、それぞれの現場での取組を知ることができました。新型コロナ感染症を恐れ過ぎず、正しく理解して、対応できるように、第2波に備えては、徹底した感染予防策の継続と、今日の話をもとに、地域の中で必要な取り組み・体制整備などについて検討していけるとよいと思います。

次回のお知らせ



ホームページ「在宅医療福祉情報の森」
で研究会の情報をご覧ください。

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>

日時：令和2年7月9日(木)18:30~20:30

テーマ「権利擁護について」

担当団体：彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会
湖東圏域4病院相談支援部門

- * ZOOMを使ったWeb研究会です。
- * 事前にメールでお申し込みください。
- * 参加方法など、詳しくはホームページ「在宅医療福祉情報の森」をご覧ください。



【問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局】

一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455 E-mail: info@gen-ai-ken-kaigo.jp)
彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)